

平成 27 年度第 1 回 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
(概要)

日 時 平成 27 年 4 月 27 日 (月) 15:00～16:30

場 所 富山県民会館 701 号室

議 事

- (1) 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する基本条例の改正について
(資料 1)
- (2) 平成 27 年度 富山県中小企業振興施策等について (資料 2、資料 3)
- (3) 富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクトの概要・スケジュール (案) について (資料 4)
- (4) 「地域創生人材育成事業」にかかる本県提案の採択について (資料 5)
- (5) 国の中小企業振興施策等について

委員からの主な意見

- ・ 中小企業振興基本条例の改正に感謝している。地域活性化や地域コミュニティに貢献している小規模企業に光を当てるのは良いことである。
- ・ 産業が発展しないと地域の発展はない。就業者の数がボトルネックとなる人口減少社会では、一人当たり労働生産性の向上が重要な課題である。
- ・ 今般採択された「地域創生人材育成事業」をはじめとする県の施策、国の総合戦略が、相乗効果を得られる仕組みになればよい。
- ・ 中心市街地に出店したくなるように商店街、商業者、行政が連携していくのが望ましい。
- ・ 最先端の取組み、新たな取組みに対する支援は手厚いが、既存製品の生産の効率化、品質の向上などに対する支援も必要である。
- ・ これからの伸び率に期待して、思い切った賃上げを行っている。新幹線開業効果を生かして、元気な企業になるよう努力していきたい。
- ・ 商業・サービス業の効率化、生産性向上に対する支援をもっと手厚くしてほしい。
- ・ 職場環境の整備に対する支援制度があればよい。

- ・福祉・介護分野については、中学生・高校生を含めた若い世代に仕事の意義や魅力を伝えるなどして人材不足に対応するとともに、広い視野を持った人材の育成が必要である。
- ・社会情勢が良くなって、人材育成に回せる余裕ができていているように感じる。人材育成も大切なことなので、力をいれてもらいたい。
- ・女性の人材確保・育成には、職場内保育所・病児保育所などをはじめとした、就業環境の改善も大切である。
- ・はっきりと伝統工芸というところに光を当て、時間をかけて取り組むというのは新しい試みであり、評価したい。
- ・金融機関としては、行政、地域の関係団体等と連携し、地方創生関連施策を着実に実施していきたい。